

# 幼稚園・保育所の機能拡大における志向性とその変化

丹治恭子（筑波大学大学院）

## 1. 問題の所在と本研究の目的

本報告では、幼稚園・保育所が機能を拡大するなかで、理念や方向性がどのように問い直されつつあるのか、その動向について検討を行う。

1990年代以降、幼稚園・保育所は、少子化の進行や女性の社会進出といった社会の変化を受けて、さまざまな活動に取り組むようになってきている。幼稚園における預かり保育や地域の保護者に対する子育て講座の開催、保育所における一時保育といった活動は、その例といえる。このように、双方の施設は、従来の制度の枠を超えて、機能拡大を遂げているのである。さらに、こうした機能の拡大は、両者の機能が類似する方向で進行しており、この点において、機能拡大は幼保一元化の議論と関わりながら展開しているといえる。

ところで、各園が、これらの新たな活動に取り組む際に避けては通れないのが、園の理念や方向性の問い直しである。というのも、従来の機能を越えた活動を始める際には、その活動の根拠となる理念や方向性に立ち返って、実施すべきか否かの判断をすることが必要になるためである。つまり、現在進行している機能拡大の動きは、園の方向性の理念や方向性の問い直しの動きと一体となって進行しているのである。

こうした問題意識を踏まえ、本報告は、幼稚園・保育所の機能拡大を支える園の理念や方向性に焦点を当て、その動向を捉えることを目的とする。

## 2. 本研究の枠組みと課題、方法

### 2-1. 研究の枠組みと課題

ここで、本報告で扱う「幼稚園・保育所の機能拡大」について、簡単に説明しておく。この「幼稚園・保育所の機能拡大」とは、両者が、従来の機能を越えて新たな機能を果たすようになることである。その動向を整理すると図1のようになる。

図に示したように、【拡大前】は、幼稚園は主として「教育」の、保育所は主として「保育」の機能を果たしてきた。それが、【拡大後】に示したように、近年、幼稚園が「保育」の機能を強化し

(幼稚園の保育所化)、保育所が「教育」の機能を充実させるようになってきている(保育所の幼稚園化)。このように、双方の施設の機能が互いに「近接」することによって「類似化」する動きを、本報告では「近接類似化」と呼ぶ(図1①)。加えて、幼稚園・保育所は共に、地域の子育て家庭に対しても支援を行うようになってきている。こうした両者が「地域」という共通した方向へと機能を「拡張」することによって起こる「類似化」を、「拡張類似化」と呼ぶ(図1②)。

【拡大前】

	園児	地域の子育て家庭	
		地域の子ども	地域の親
幼稚園	教育(+保育)	-	-
保育所	保育(+教育)	-	-

【拡大後】

	園児	地域の子育て家庭	
		地域の子ども	地域の親
幼稚園	教育+保育	保育	助言・啓発
	①		②
保育所	保育+教育	保育	助言・啓発

図1 幼稚園・保育所の機能拡大

本研究の課題は以下の通りである。

- ① 幼稚園・保育所が機能を拡大するなかで、各園が「今後の園のあり方」として、どのような姿を描いているのかを明らかにする。
- ② 機能拡大の進行と、「今後の園のあり方」の関連について明らかにする。
- ③ 幼稚園・保育所の機能拡大の動きのなかで、各園が「幼保一元化」についてどのように考えているのか、その内実を明らかにする。
- ④ 機能拡大の進行と、「幼保一元化に対する考え方」の関連を明らかにする。
- ⑤ これまでの課題を踏まえて、園の理念・方向性が機能拡大をどのように支えているのか、その関連について検討を行う。

### 2-2. 研究の方法

本報告では、上記のことを検討するため、関東圏の2つの県の認可幼稚園・保育所を対象に行った質問紙調査の結果を用いていく。調査の概要は以下の通りである。

- ・ 調査の方法 … 郵送法
- ・ 調査期間 … 2005年7月～8月
- ・ 調査対象 (調査票配布先)
  - … I 県・C 県内の認可幼稚園 501 園・認可保育園 526 園  
[無作為に抽出 (抽出率 50%) した市町村内の幼稚園・保育園全園]
- ・ 有効回答数 (有効回答率)
  - … 幼稚園 274 園 (54.7%)・保育所 285 園 (54.2%)

### 3. 機能拡大と今後の園のあり方との動向

まず、機能拡大と各園が描く今後の園のあり方との関連について、表 1 のように検討を行った。

#### 3-1. 近接類似化と今後の園のあり方との関係

幼稚園では、保育機能の拡大に積極的であるほど、「1. 地域の子育て家庭の身近な場づくり」や「4. 多様な保育ニーズへの対応」を重視する傾向がみられた。また、その一方で、「2. 保護者の『子育てに関する力』を高めるための場となること」を軽視する傾向もみられた。ここからは、幼稚園の保育機能の強化が進むにつれて、園の支援の方向性が「地域」へと向いている様子が窺える。

また、保育所においては、教育機能の拡大に積極的であるほど、「8. 子育て情報センター的な役割」を軽視する傾向が見られた。近接類似化は、幼稚園では園を外部に開き、保育所では内部の園児対象の支援を強化するというように、内と外という支援の方向性と関連しているようである。

#### 3-2. 拡張類似化と今後の園のあり方との関係

拡張類似化と今後の園のあり方との関係については、拡張類似化が進行している園ほど、「3. 地域の人の『子育てに関する力』の向上」「8. 子育て情報センター的な役割」といった地域に開かれた園についての方向性を重んじている様子がみられた。拡張類似化の動きの進行は、地域への方向性をもとに進むものといえよう。

表 1 近接類似化・拡張類似化の進行と園のあり方の関係

			1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.
			地域の 子育て 家庭の 身近な 場づくり	保護者 の「子育 てに関 する力」 の向上	地域の 人の「子 育てに 関する 力」の向 上	多様な 保育ニ ーズへ の対応	専門的 な立場 からの 保育	特色を もった 園づくり	職員 の視野 の広がり	子育 て情 報セ ンタ ー的 な役 割	小学 校で の教 育に つな がる 保育
近接 類似 化 (N=527)	幼 稚 園(N=259)	低群(N=55)	29.1	61.8	16.4	27.3	21.8*	43.6	32.7	40.0	18.2**
		中群(N=83)	30.1	55.4	13.3	22.9	41.0*	37.3	18.1	33.7	42.2**
		高群(N=121)	38.8	50.4	18.2	38.0	23.1*	39.7	22.3	41.3	22.3**
	保 育 所(N=268)	低群(N=133)	74.4	42.9	29.3	45.1	10.5	18.0	16.5	53.4	3.0
		中群(N=86)	77.3	47.0	31.8	36.4	12.1	12.1	16.7	53.0	4.5
		高群(N=69)	68.1	42.0	33.3	46.4	10.1	21.7	21.7	44.9	4.3
拡 張 類 似 化 (N=521)	低群(N=177)	45.2*	46.3	18.1*	39.5	22.0	43.5***	22.0	33.3**	20.9*	
	中群(N=159)	61.0*	45.3	22.0*	39.6	18.2	28.3***	16.4	50.3**	15.1*	
	高群(N=185)	56.2*	53.0	31.4*	34.1	18.9	16.2***	21.6	51.4**	10.3*	

\* p<0.05 \*\* p<0.01 \*\*\* p<0.001

注) 多重回答 (9項目中3項目を選択) における各項目の選択率

### 4. 機能拡大の動向と幼保一元化に対する考え方

つづいて、機能拡大と幼保一元化を肯定的に捉えるか否かに関する考え方との関係について、検討を行った。結果は以下の通りである (表 2)。

表 2 近接類似化・拡張類似化の進行と幼保一元化に対する考え方との関係

			幼保一元化に対する考え方		
			低群	中群	高群
近接 類似 化 (N=455)	幼 稚 園** (N=231)	低群(N=56)	51.8	30.4	17.9
		中群(N=70)	37.1	25.7	37.1
		高群(N=105)	23.8	34.3	41.9
	保 育 所 (N=224)	低群(N=109)	26.6	33.0	40.4
		中群(N=58)	25.9	31.0	43.1
		高群(N=57)	24.6	31.6	43.9
拡 張 類 似 化*** (N=452)	低群(N=158)	44.9	31.0	24.1	
	中群(N=130)	26.2	29.2	44.6	
	高群(N=164)	20.1	32.9	47.0	

\*\* p<0.01 \*\*\* p<0.001

#### 4-1. 近接類似化と幼保一元化に対する考え方

表に示したように、幼稚園においては、保育機能の拡大に積極的であるほど、「幼保一元化」に対する方向性を肯定的に捉えている傾向がみられた。一方、保育所ではそうした関係はみられなかった。

#### 4-2. 拡張類似化と幼保一元化に対する考え方

拡張類似化については、拡張類似化の進行が、「幼保一元化」に対する肯定的な考え方と結びついている様子がみられた。こうした傾向は、幼稚園・保育所共にみられるものであった。

### 5. 結論ならびに今後の課題

機能拡大の動きの進行は、「地域」に対する支援という方向性や理念によって、支えられていることが明らかとなった。さらに、幼稚園の保育所化ならびに拡張類似化の進行については、幼保一元化をも視野に入れた動きであることが窺えた。

これらの結果から、園を開くという方向性が、機能拡大を支える共通の方向性の一つとなっているといえよう。

#### 【参考文献】

山崎晃・樟本千里・上田七生 2004, 「幼保一元化・一体化をめぐる諸問題—保育関係者はこの問題をどのようにとらえているか—」『保育学研究』第 42 巻 2 号,

272-285 頁。